

## 「最近の機械貿易動向(6月)～機械輸出伸び率5ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2017.8.30.

平成29年6月の機械輸出額は4兆2,926億円、対前年同月比8.8%増と、5ヶ月連続でプラスとなった。これは、①その他地域向けを除き、5地域向けがプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な21輸出業種のうち17業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が1.3%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は7.5%増となった。平成29年7月の為替・営業日要因は5.3%の増加寄与要因となっているが、8月17日発表の貿易統計速報による簡易計算では7月の機械輸出は12.6%増であった。

### I 要約

#### 1. 全商品貿易動向(図表1)

- ①全商品輸出額:6兆6,084億円(前年同月比[以下同じ]9.7%増、7カ月連続プラス)
- ②全商品輸入額:6兆1,686億円(15.5%増、6ヶ月連続プラス)
- ③貿易収支:4,398億円、2ヶ月ぶりの黒字

#### 2. 機械貿易動向

##### (1) 機械輸出入動向(図表2)

- ①機械輸出額:4兆2,926億円(8.8%増、5ヶ月連続プラス)
- ②機械輸入額:2兆235億円(10.9%増、4カ月連続プラス)
- ③為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:7.5%増(9ヶ月連続プラス)

##### (2) 為替・営業日動向

6月に1.3%、7月に5.3%、8月に3.7%の増加要因となる。

##### (3) 地域別動向

- ①4地域向けでリーマンショック前の水準以上(図表4)
- ②北米向け:6.8%増、5ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ③中国向け:20.2%増、8ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ASEAN・南アジア向け:3.0%増(図表4、6、8、9)
- ⑤EU向け:14.1%増、5ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥韓国・台湾向け:21.3%増、11ヶ月連続プラス(図表4、5、6、7)
- ⑦その他地域向け:6.2%減、6地域のうち、唯一のマイナス地域(図表4、10)

##### (4) 業種別動向(図表11)

上位21業種のうち17業種がプラス。そのうち12業種が二桁の伸び

##### (5) 機種別動向(図表12、13)

- ①産業用ロボット(5ヶ月連続輸出伸び率上位機種、中国、北米向け中心)や半導体製造装置(15ヶ月連続上位、韓国・台湾、中国向け中心)等が大きくプラス
- ②その他の光学機器(6ヶ月連続上位)、配電機器(8ヶ月連続上位)等も好調に輸出
- ③発電機や航空機部品、通信機械部分品が大きくマイナス

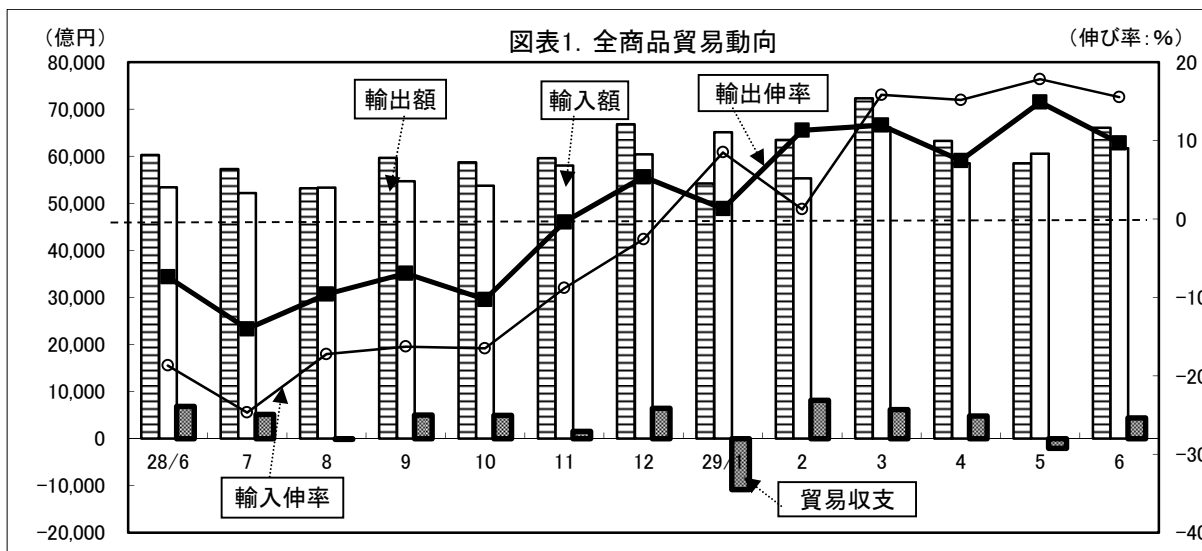
##### (6) 機械輸入動向(図表14)

- ①機械輸入額上位12機種のうち、11機種がプラス(4ヶ月連続)
- ②そのうち電子デバイス、乗用車、電子計算機をはじめ、9機種が二桁のプラス

## II 個別動向

### 1. 全商品貿易動向～輸出は7ヶ月連続プラス、輸入も6ヶ月連続でプラス～

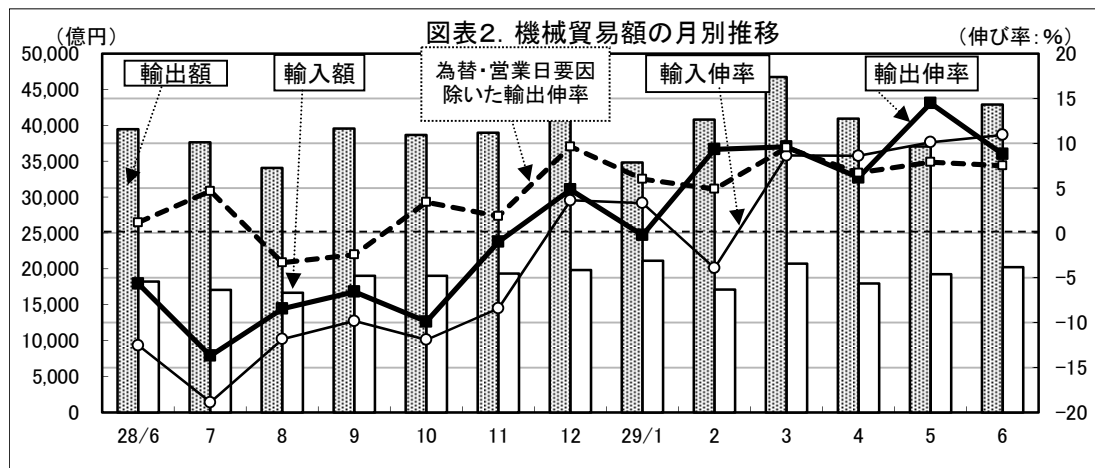
- 1) 平成29年6月の全商品輸出額は**6兆6,084億円**、前年同月比(以下同じ)**9.7%増**と7ヶ月連続でプラスとなった(5月14.9%増)。これは、全輸出額の約20%を占める一般機械(13.9%増)がプラスとなった他、約17%を占める電気機器(10.1%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(7.9%増)、プラスチック等化学製品(11.1%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆1,686億円**、**15.5%増**と6ヶ月連続でプラスとなった(5月17.8%増)。これは、全輸入額の約19%を占める原粗油等鉱物性燃料(31.1%増)が6ヶ月連続でプラスとなったことに加え、一般機械(22.2%増)、原料別製品(14.6%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、4,398億円と2ヶ月ぶりの黒字となった。(5月は2,042億円の赤字)。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は5ヶ月連続、輸入も4ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約65%を占める6月の機械輸出額は**4兆2,926億円**、**8.8%増**と5ヶ月連続でプラスとなり(5月14.5%増)、その水準は、リーマンショック前(2008年6月)と比べると**89.7%**となって、前月に比べて7.4ポイント改善した(5月82.3%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は7.5%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**2兆235億円**、**10.9%増**と4ヶ月連続でプラスとなり(5月10.1%増)、リーマンショック前(2008年6月)の水準に比べ、20.1%増となっている。

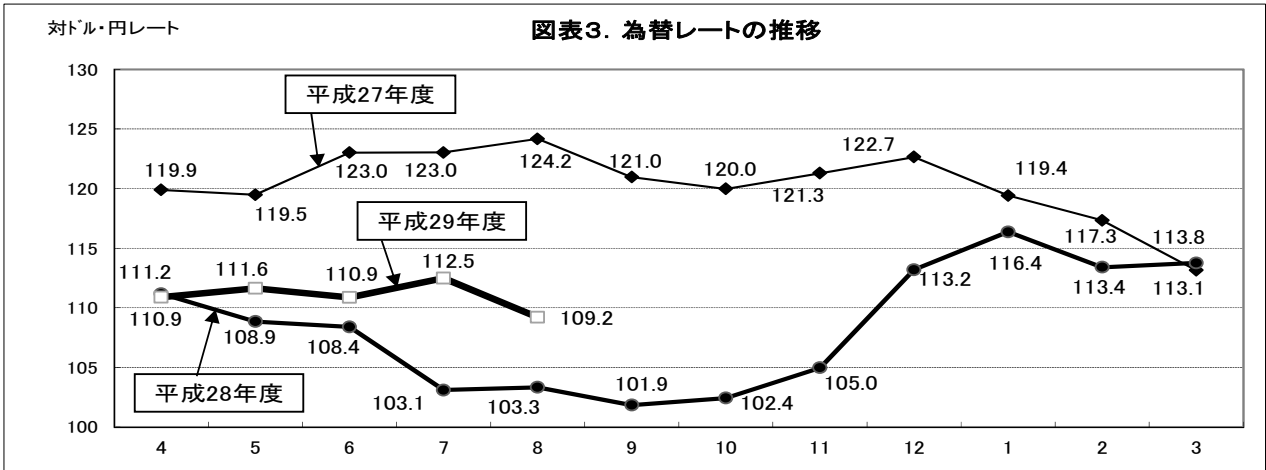


(2) 為替・営業日動向～6月は1.3%の増加要因、7月は5.3%の増加要因～

1) 2017年6月は1ドル＝110.9円となり、前年に比べ2.3%の円安となった。また、対ユーロは124.2円と前年に対して2.0%の円安となり、合わせて約1.3%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約1.3%の増加要因となる。6月の輸出額は8.8%増であったことから、実質的伸び率は7.5%増と9ヶ月連続プラスとなった(5月7.9%増)。

2) 2017年7月は1ドル＝112.5円で前年比9.1%の円安、対ユーロは127.3円で前年比11.1%の円安となり、合わせて約5.3%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約5.3%の増加要因となる。

3) 2017年8月は、対ドルが8月24日17:00時点の109.2円とすれば、前年に比べて5.7%の円安、また、対ユーロは128.8円で12.4%の円安となり、合わせると約3.7%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約3.7%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～その他地域向けを除く5地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.3%を占める最大輸出先の北米向けでは、航空機部品(6.0%減)がマイナスとなったものの、全体の約53%を占める自動車(9.8%増)や産業機械(6.2%増)等が増加し、6.8%増となった。②21.9%を占める中国向けでは、産業機械(34.7%増)、自動車(14.1%増)、電子デバイス(14.7%増)等が大幅にプラスとなって20.2%増となり、③14.2%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(33.0%増)、パキスタン(12.1%増)が二桁のプラスとなり、業種では、自動車(1.6%減)、産業機械(2.5%減)がマイナスとなったものの、電子デバイス(11.0%増)、配電機器等軽電気機械(15.4%増)等がプラスとなり、3.0%増となった。④12.2%を占めるEU向けは、約38%を占める自動車(20.7%増)、産業機械(14.9%増)等がプラスとなって14.1%増となり、⑤10.8%を占める韓国・台湾向けは、半導体製造装置・産業用ロボット等産業機械(38.0%増)、電子デバイス(14.3%増)、重電気機械(25.9%増)等が増加して21.3%増となった。⑥15.6%のその他地域向けでは、アフリカ(19.9%増)、大洋州(8.4%増)向けがプラスとなったものの、中南米(12.1%減)、中近東(11.9%減)、ロシア東欧等(7.7%減)向け等がマイナスとなり、機種では、自動車(1.4%増)等がプラスとなったものの、産業機械(16.7%減)、船舶(17.7%減)が大きくマイナスとなって6.2%減となった。

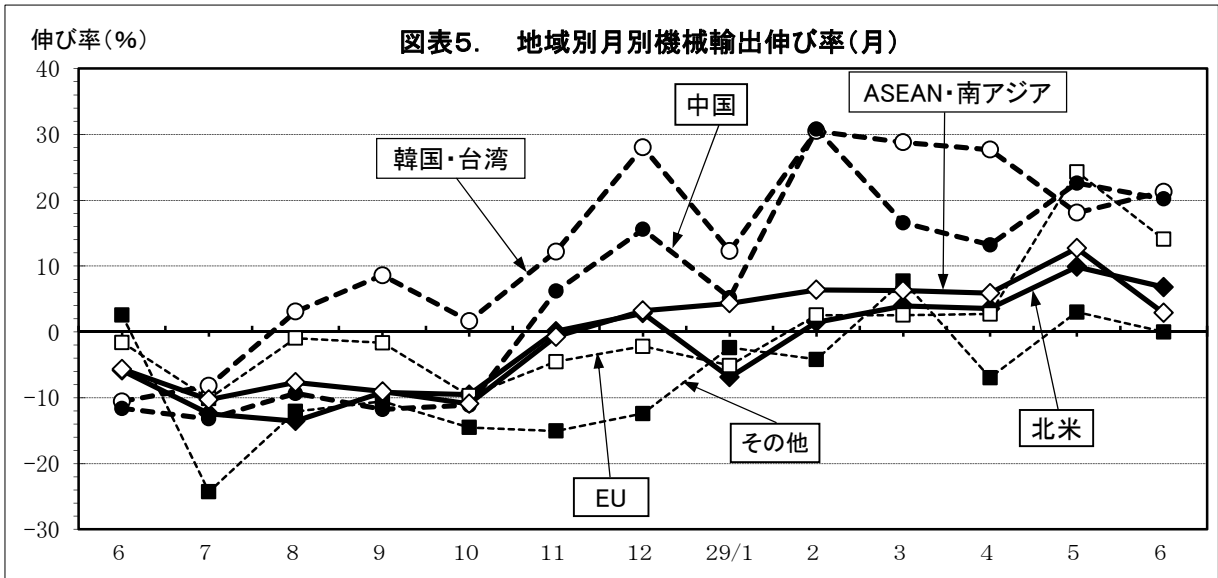
2) また、リーマンショック前の2008年6月の地域別輸出額と比較すると、中国、韓国・台湾、ASEAN・南アジア、北米向けが100%を超え、EU向けが70%台、その他地域向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2017/4			2017/5			2017/6			対08年 6月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	40,927	6.2	100.0	37,072	14.5	100.0	42,926	8.8	100.0	0.90
北米	10,421	3.6	25.5	8,928	9.9	24.1	10,876	6.8	25.3	1.01
中国	8,791	13.2	21.5	8,153	22.6	22.0	9,406	20.2	21.9	1.08
ASEAN・南アジア	6,088	5.9	14.9	5,547	12.7	15.0	6,077	3.0	14.2	1.01
EU	5,093	2.7	12.4	4,873	24.3	13.1	5,227	14.1	12.2	0.71
韓国・台湾	4,480	27.7	10.9	4,178	18.1	11.3	4,653	21.3	10.8	1.05
その他	6,052	▲7.0	14.8	5,393	3.0	14.5	6,688	▲6.2	15.6	0.64

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

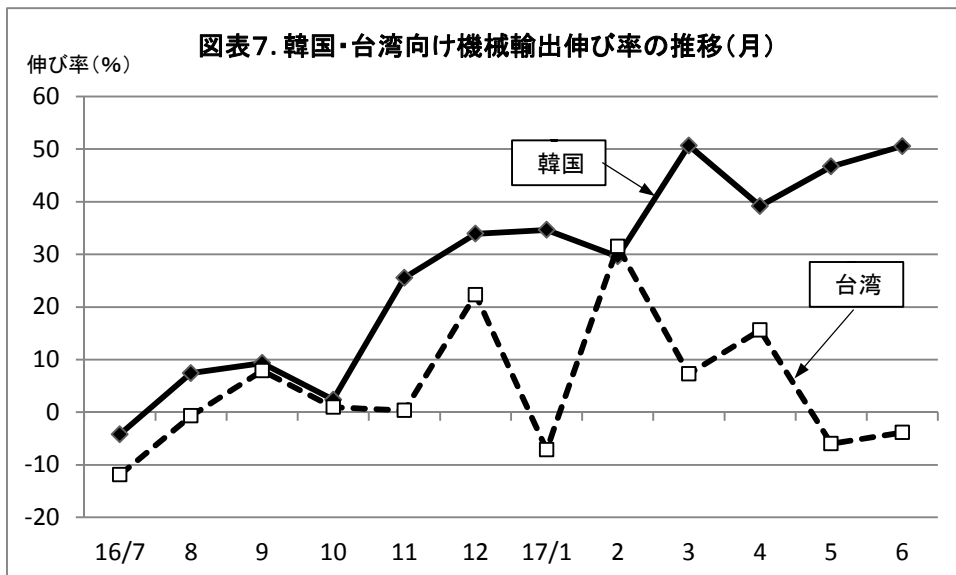


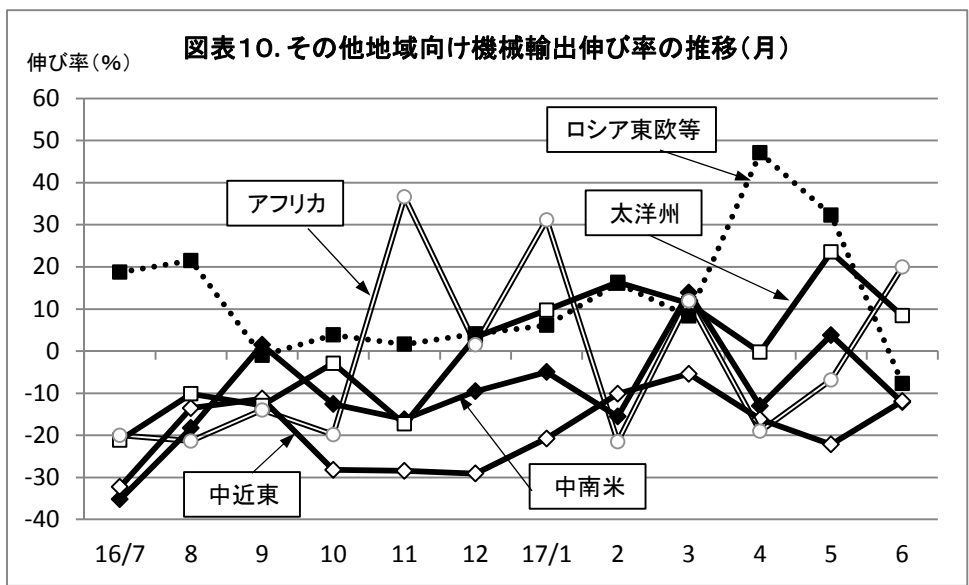
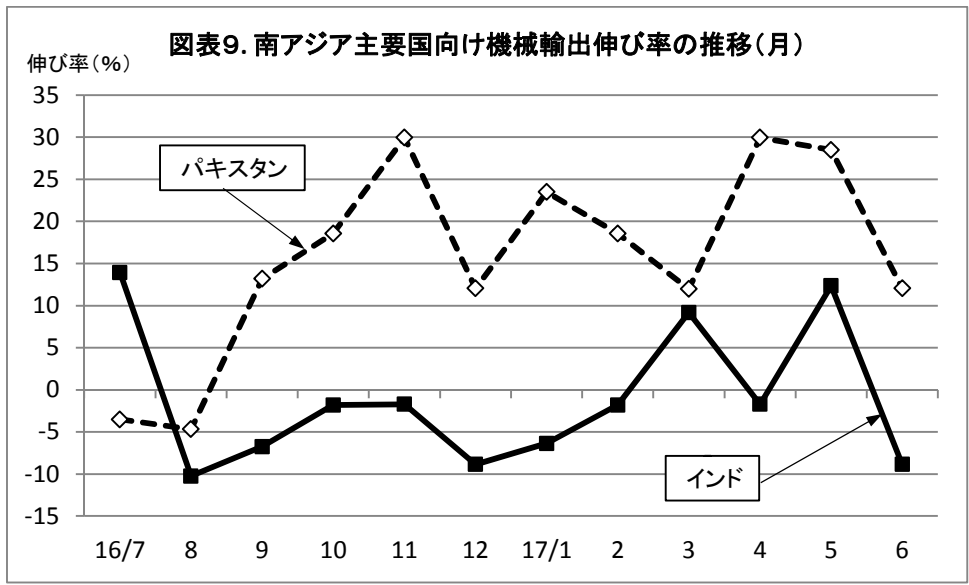
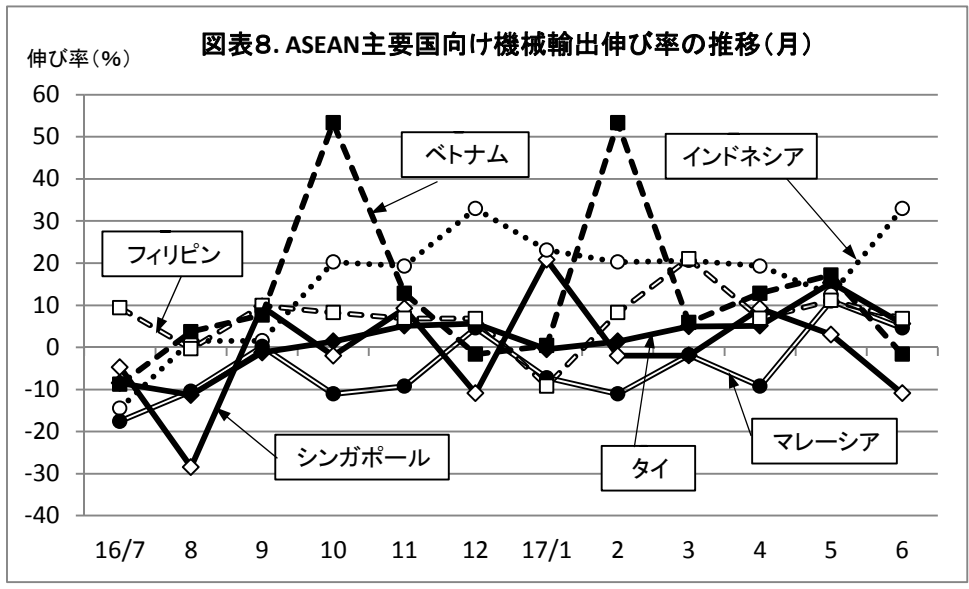
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2017/3		2017/4		2017/5		2017/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	3,043	50.7	2,502	39.2	2,376	46.7	2,669	50.5
台湾	2,202	7.3	1,978	15.6	1,802	▲ 6.0	1,984	▲ 3.9
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,620	5.0	1,613	5.1	1,392	15.3	1,575	5.6
シンガポール	1,114	▲ 2.0	1,011	9.2	894	3.0	954	▲ 10.9
インドネシア	814	20.6	671	19.3	655	12.5	683	33.0
マレーシア	729	▲ 1.8	618	▲ 9.3	607	11.0	656	4.6
フィリピン	770	21.0	676	6.9	631	11.1	694	6.8
ベトナム	703	5.9	704	12.8	601	17.2	721	▲ 1.6
インド	545	9.2	375	▲ 1.7	357	12.3	411	▲ 8.9
パキスタン	173	12.0	188	29.9	152	28.5	153	12.1
<b>その他地域</b>								
中南米	2,943	13.9	1,915	▲ 13.1	1,700	3.8	2,168	▲ 12.1
中近東	1,998	▲ 5.4	1,403	▲ 16.2	1,129	▲ 22.2	1,578	▲ 11.9
大洋州	1,225	11.3	1,201	▲ 0.3	1,156	23.5	1,370	8.4
ロシア東欧等	1,005	8.3	1,174	47.1	970	32.3	985	▲ 7.7
アフリカ	755	11.9	448	▲ 19.1	424	▲ 6.8	562	19.9

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





**(4)業種別動向～21業種中プラスは17業種。うち産業機械等12業種が二桁の増加～**

- 1)業種別では、21業種中17業種がプラスとなり、前月に比べて2業種減少した。業種では、産業機械(15.5%増)、電子デバイス(11.2%増)、軽電気機械(12.4%増)等12業種が二桁の伸びとなり、機械全体で8.8%増となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、ベアリング、医療機械、産業機械、光学機械、陸用内燃機関、繊維機械の9業種となった(5月は6業種)。他方、民生用電子機械、電子計算機、産業車両が40%台の低い水準にある。

**図表11 上位21業種の輸出額の動き**

(単位:億円、%)

2017/4				2017/5				2017/6				対08/6 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	14,318	5.2	35.0	自動車	12,203	10.9	32.9	自動車	15,201	7.8	35.4	0.91
産業機械	7,687	12.1	18.8	産業機械	7,131	16.3	19.2	産業機械	7,903	15.5	18.4	1.06
電子デバイス	3,235	11.0	7.9	電子デバイス	2,944	16.4	7.9	電子デバイス	3,259	11.2	7.6	0.83
軽電気機械	2,155	6.6	5.3	軽電気機械	1,859	15.2	5.0	軽電気機械	2,195	12.4	5.1	0.91
重電気機械	2,009	9.0	4.9	重電気機械	1,806	17.0	4.9	重電気機械	2,095	12.6	4.9	0.97
軽機械	1,633	▲1.3	4.0	船舶	1,700	39.9	4.6	軽機械	1,746	4.2	4.1	1.29
民生用電子機械	1,427	▲1.4	3.5	軽機械	1,463	7.0	3.9	船舶	1,609	5.2	3.7	0.86
光学機械	1,337	19.5	3.3	光学機械	1,248	30.1	3.4	民生用電子機械	1,377	1.8	3.2	0.43
船舶	1,245	▲13.8	3.0	民生用電子機械	1,209	2.6	3.3	光学機械	1,293	20.8	3.0	1.02
建設機械	1,169	14.9	2.9	建設機械	1,037	22.3	2.8	建設機械	1,179	12.2	2.7	0.76
航空機部品	704	▲11.7	1.7	工作機械	696	21.8	1.9	工作機械	793	14.4	1.8	0.92
工作機械	667	12.5	1.6	航空機部品	653	▲9.7	1.8	航空機部品	733	▲27.5	1.7	1.57
通信機械	564	▲0.8	1.4	通信機械	440	▲1.4	1.2	通信機械	523	▲6.8	1.2	0.61
電子計算機	419	▲0.0	1.0	電子計算機	396	16.0	1.1	医療機械	471	12.9	1.1	1.20
ベアリング	397	7.5	1.0	医療機械	384	11.3	1.0	電子計算機	448	8.6	1.0	0.47
医療機械	397	▲0.4	1.0	陸用内燃機関	364	26.0	1.0	ベアリング	437	15.9	1.0	1.21
陸用内燃機関	386	14.9	0.9	ベアリング	363	14.4	1.0	陸用内燃機関	396	17.5	0.9	1.00
繊維機械	200	26.6	0.5	繊維機械	191	19.5	0.5	繊維機械	241	37.7	0.6	1.00
農業機械	189	▲7.8	0.5	鉄道車両	185	157.2	0.5	農業機械	176	▲11.5	0.4	0.88
鉄道車両	130	5.4	0.3	農業機械	171	9.8	0.5	鉄道車両	145	30.7	0.3	1.48
産業車両	114	10.5	0.3	産業車両	103	17.5	0.3	産業車両	117	▲3.2	0.3	0.47
21業種合計	40,383		98.7	21業種合計	36,545		98.6	21業種合計	42,338		98.6	0.90

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・**産業機械**:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン  
 ・**民生用電子機械**:デジタルカメラ、TV、部品 ・**電子計算機**:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・**軽機械**:試験・検査機、理化学用機器  
 ・**軽電気機械**:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・**光学機械**:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品  
 ・**通信機械**:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

**(5)機種別動向～産業用ロボット、半導体製造装置等が大幅増、発電機、航空機部品等が大幅減～**

- 1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①中国、北米向け**産業用ロボット**(48.5%増)、②韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(38.2%増)、③ASEAN・南アジア、中国向け**繊維機械**(37.7%増)、④中国、北米、韓国・台湾向け**電動機**(33.0%増)、⑤ASEAN・南アジア、北米、中国向け**金属加工機械**(32.1%増)、⑥EU向け**鉄道車両**(30.7%増)、⑦中国、韓国・台湾向け**その他の光学機器**(22.5%増)、⑧中国、ASEAN・南アジア向け**配電機器**(22.2%増)、⑨中国、ASEAN・南アジア向け**電池**(21.8%増)、⑩中国、韓国・台湾、ASEAN・南アジア向け**その他の配電制御装置**(17.6%増)、であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、発電機(44.8%減)、航空機部品(27.5%減)、通信機械部分品(23.3%減)等であった。

**図表12 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)**

(単位:億円、%)

2017/4			2017/5			2017/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
産業用ロボット	229	66.2	鉄道車両	185	157.2	産業用ロボット	234	48.5
発電機	107	63.6	産業用ロボット	197	54.3	半導体製造装置	2,240	38.2
原動力機械	495	30.7	船舶	1,700	39.9	繊維機械	241	37.7
半導体製造装置	1,976	29.9	その他の光学機器	1,051	33.2	電動機	177	33.0
繊維機械	200	26.6	原動力機械	394	32.6	金属加工機械	296	32.1
その他の光学機器	1,139	23.4	金属加工機械	267	28.0	鉄道車両	145	30.7
配電機器	564	21.3	電動機	143	27.8	その他の光学機器	1,083	22.5
電池	226	15.3	配電機器	474	27.8	配電機器	551	22.2
陸用内燃機関	386	14.9	陸用内燃機関	364	26.0	電池	239	21.8
建設機械	1,169	14.9	半導体製造装置	1,890	25.1	その他の配電制御装置	954	17.6
機種合計	6,491	* 15.9%	機種合計	6,665	* 18.0%	機種合計	6,160	* 14.4%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

**通信機械部分品**:ゲートウェイ、リピーター等 **受信変換・その他送受信**:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器  
**理化学用機器**:物理・化学分析用機器の部分品、電気式分析機器等 **電動機**:業務用モーター  
**その他の光学機器**:レーザー、半導体検査装置等 **その他の重電気機器・部分品**:重電機器部分品、交通管制用機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2017/4			2017/5			2017/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
貨物自動車	674	▲ 19.3	受信変換その他送受信機器	97	▲ 15.8	発電機	64	▲ 44.8
金属加工機械	220	▲ 18.9	機種合計	97	* 0.3%	航空機部品	733	▲ 27.5
船舶	1,245	▲ 13.8				通信機械部分品	206	▲ 23.3
航空機部品	704	▲ 11.7				農業機械	176	▲ 11.5
磁気カード・ディスク等	146	▲ 11.1				機種合計	1,179	* 2.7%
TV	97	▲ 10.7						
機種合計	2,412	* 5.9%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、乗用車、電子計算機等が大きくプラス～

- 1) 6月の機械輸入伸び率は10.9%増と4ヶ月連続でプラスとなり、4ヶ月連続で上位12機種のうち11機種がプラスとなった。そのうち電子デバイス(13.3%増)、乗用車(10.4%増)、電子計算機(33.4%増)をはじめ、9機種が二桁のプラスであった。上位12機種のうち、マイナスとなったのは、携帯電話(34.5%減)の1機種のみであった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信機器、時計、TV、通信機械部分品の10機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の38%を占める中国(1.4%増)、ASEAN・南アジア(27.1%増)、北米(7.2%増)、EU(21.3%増)、韓国・台湾(18.7%増)、その他地域(2.3%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2017/4				2017/5				2017/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,022	4.6	11.3	電子デバイス	2,084	11.0	10.8	電子デバイス	2,331	13.3	11.5
電子計算機	1,701	3.0	9.5	電子計算機	1,762	22.2	9.2	乗用車	2,279	10.4	11.3
携帯電話	1,306	96.5	7.3	乗用車	1,102	28.4	5.7	電子計算機	2,066	33.4	10.2
自動車部品	984	5.6	5.5	自動車部品	1,094	7.1	5.7	自動車部品	1,168	10.9	5.8
乗用車	974	0.7	5.4	携帯電話	1,014	4.4	5.3	航空機・部品等	1,138	17.7	5.6
航空機・部品等	842	▲ 16.1	4.7	航空機・部品等	851	▲ 25.8	4.4	携帯電話	1,051	▲ 34.5	5.2
白物家電	712	1.3	4.0	白物家電	846	2.4	4.4	白物家電	821	1.0	4.1
医療機械	616	6.7	3.4	医療機械	624	1.3	3.2	医療機械	633	1.4	3.1
受信変換その他送受信	505	27.7	2.8	受信変換その他送受信	572	27.5	3.0	配電機器	576	15.6	2.8
配電機器	498	9.2	2.8	配電機器	562	18.5	2.9	受信変換その他送受信	568	27.0	2.8
その他の配電制御装置	372	14.2	2.1	その他の配電制御装置	405	17.3	2.1	その他の配電制御装置	426	20.9	2.1
コンデンサー等部分品	312	6.9	1.7	コンデンサー等部分品	379	15.1	2.0	半導体製造装置	403	124.4	2.0
12機種合計	10,844		60.4	12機種合計	11,295		58.7	12機種合計	13,460		66.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械  
 ・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等